

お鍬山 植物たより (H25. 7. 8)

お鍬山では春に花が咲いた樹木もいまは果実を実らせ、秋には見事な真っ赤な色や鮮やかな藍色の実を見せてくれます。特にヤマガキやクリは秋の味覚として楽しみでもあります。花を咲かせている樹木は少ない中で、交差点「西山橋西」～「伊保橋南」間の市道沿いにハギの仲間であるコマツナギ、イタチハギ、ヤマハギなどの花を見ることができます。ハギといえば秋の花といわれ、花期には地につくほど枝がしだれて咲くミヤギノハギや路傍に自生のヌスビトハギなどはよくみるところですが、同じハギの仲間でもコマツナギなどはいま咲いています。イタチハギは外来種で山林の砂防用、護岸用に植えられたのがいま野生化したもののようなようです。コマツナギも本来の自生種でなくイタチハギと同じような目的で移入された中国産のようです。

この市道沿いは里山整備以前の植生を残しており、お鍬山では整備後に生えたために幼樹が多いのですが、

ここでは成木となっています。

ゴンズイ、イボタノキ、センダ
ンなどがその例です。



(中国産) コマツナギ



イタチハギ



ヤマハギ